

日本酸素ATI株式会社



事業概要	半導体製造装置・化学関連機器・制御機器・電気制御およびソフトウェアの設計・製造やエンジニアリングなど
所在地	〒220-8561 神奈川県横浜市西区みなとみらい4丁目6-2 みなとみらいグランドセントラルタワー14階
電話番号	045-872-6830(代表)
URL	https://ati.jp.nipponsanso.com/
代表者名	代表取締役社長 瀧上 慶太
設立	2008年2月1日
資本金	3,000万円
従業員数	80名(2026年3月31日現在)
売上高	39億円(2026年3月期)

(1)代表者メッセージ



代表取締役社長 瀧上 慶太

私たちは、先端技術を駆使して、半導体製造装置をはじめ、化学関連機器や制御システムの設計・製造を行い、国内・海外に展開しています。
技術革新が日々進化する中で、最新の技術を活用し、常にお客様に満足してもらえる性能と信頼性を持つ製品をお届けできるよう、新たな発想やチャレンジな手法を試せる技術集団を目指します。
私たちの装置と制御技術が、お客様のビジネスの成功に寄与し、より良い社会の実現に貢献できるよう、これから先も「まずはやる」を基軸として柔軟性と技術の進化に対応し、高付加価値を提供できる成長企業であり続けます。

(2)技術・製品(事業)の特長

- ①技術(事業)内容
- ②技術の用途と機能
- 産業を支える3つの事業

独自に培ってきた高度なエンジニアリング技術により装置・システムの設計から開発・製造、フィールドサービスまでを一貫して提供しています



装置事業では、日本酸素が国内外に展開している化合物半導体成膜装置とその関連装置の設計・製造・フィールドサービスを請け負っています。
化合物半導体成膜装置を用いて製造された半導体製品は、照明や信号用LEDをはじめ、自動車距離認識LiDAR、携帯電話の6G用アンテナ、携帯・自動車の充電用素子などに至るまで、活用範囲が拡大しつつあります。



開発事業では、長年培ってきた設計・品質管理技術を応用し、日本酸素グループ会社の新たな開発製品やガスソリューション製品の設計・エンジニアリングを請け負っています。また、装置設計などで培った技術で、日本酸素グループ各社の設備やDX化などにも取り組んでいます。



電気計装事業では、装置の計装技術から発展させ、制御盤・監視盤・操作盤などのハード・ソフトウェアの製作、各種電子機器や基板の設計・製作、ロボットを組み込んだシステムの構築やWeb系ソフトウェアなどを手掛けています。日本酸素グループ以外のさまざまな業界にも展開し、常に新たな技術に挑戦しています。

③特長・強み

日本酸素ATIは、日本酸素株式会社の100%子会社であり、グループ唯一の半導体製造装置製造を担っており、その技術を生かした装置・機器および電気計装の設計製造・フィールドサービスを提供します。
社名にあるATIとは、最先端技術に取り組むAdvanced Technology Initiativesの頭文字を取り、日本酸素のイノベーション部門と連携して、横浜みなとみらい、長野、青森八戸で事業展開しています。



NIPPON
SANSO

日本酸素株式会社

日本酸素ATI

装置事業	開発事業	電気計装事業
 化合物半導体成膜装置	 半導体向けドライアイス洗浄装置	 制御盤および監視盤の設計・製作
 CO ₂ ガス回収VSA装置	 金属3Dプリンター関連機器	 電子機器および基板の設計・開発製作
 金属3Dプリンター関連機器	 出荷管理システム	 木質バイオマス管理システム

長野事業所について

2025年9月に青森県八戸市の有限会社青森カシマソフトウェアを統合し、八戸事業所として開設しました。セリシステムやマニフェスト管理システムなどの制御系PCソフトウェアの受託開発をメインとして、AI や DX 分野への拡大とグローバル展開を加速しています。



八戸事業所について

2022年10月に長野県長野市にあった協力会社より全事業を譲り受け、長野事業所として開設しました。PLCを主体とする半導体製造装置や開発製品装置の制御システム部の設計・製作に加えて、IoTやWebシステム、Raspberry Piなど、多種多様な電気計装システムを展開しています。

